

岩出市こども計画に関する ワークショップの実施

【実施報告】

目次

1 ワークショップの目的.....	1
2 ワークショップのテーマ・内容.....	1
3 参加者.....	1
4 タイムスケジュール	2
5 グループワークの流れと当日の様子	3
6 ワークショップ意見まとめ	5
7 総括	9



令和7年2月
株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所

1 ワークショップの目的

今回のワークショップは、グループワークを通じて、岩出市の子ども・若者をめぐる環境について小学生・中学生・高校生・大学生（未来の大人）の意見や考えを聞くことで、こども・若者が幸せに暮らせるまちづくりの実現につなげます。



ワークショップの結果については、計画策定の参考資料として活用し、参加者の想いを反映させた計画策定へとつなげます。

2 ワークショップのテーマ・内容

「こどもたちが輝くまちづくり」の実現に向けたワークショップの開催を目指し、岩出市の小中高大生に、「してもらってよかったと思うこと・これからも残してほしいこと」としました。

幼少期から心に残っている良かったことと、次のこどもたちに残したいことを語り合いにより考えてもらいました。

お題：「してもらってよかったと思うこと・これからも残してほしいこと」について話し合

おう！

- ① 自分たちが「心に残っている経験」として学校での出来事や地域での交流・見守りなど、具体的な例を挙げる。
- ② 「これからも残してほしいこと」について話し合う。

3 参加者

市内の小学生、中学生、高校生 15 名参加

	小学生（3年生）	小学生（6年生）	中学生	高校生	大学生
A	1名	2名		1名	1名
B		3名	1名		1名
C	1名	2名		1名	1名
合計	2名	7名	1名	2名	3名

4 タイムスケジュール

今回のワークショップを参加者同士の意見共有の場として、参加者の皆様の活発な語り合いを重視したプログラムを設定しました。

時間 (目安)	内容	役割	備考
3 分	①開会あいさつ	事務局	開会あいさつ、スタッフ紹介など
7 分	②計画について	JP 総研	こどもまんなか社会の説明などオリエンテーションを実施
5 分	③ワークショップ 概要説明	JP 総研	今回のワークショップの狙いなどについて説明
65 分	④ワークショップ の実施	進行: JP 総研	アイスブレイク(5分)
			第1ラウンド(20 分)
			第2ラウンド(20 分)
			第3ラウンド(20 分)
5 分	⑤全体共有	JP 総研	カードの記入
3 分	⑥まとめ	JP 総研	まとめ、ギャラリーウォーク
2 分	⑦閉会あいさつ	事務局	閉会のあいさつ

■カード例

かがやくミライカード

こころにのこったよかったこと

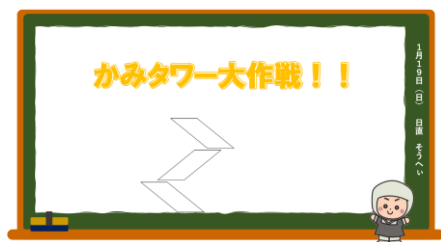
ミライにのこしたいこと

こんなことあったらいいな

5 グループワークの流れと当日の様子

アイスブレイク

○「紙積み」のアイスブレイクを実施しました。



第1ラウンド

○5人がけでテーマに基づき“語り合い”をスタートします。
○まずは、「よかったこと」を話し合いました。



20分

席替え

○各テーブル1人を残し、席替えします。
(できるだけ第1ラウンドで一緒だった人と同じテーブルにならないように)
○新たなメンバーで“語り合い”を再開します。

第2ラウンド



大人顔負けの意見を出し合っていました。

20分

テーブルの上には多数のご意見がありました。



第3ラウンド

20 分

○最初のテーブルに戻り、情報共有しながら、新たな意見や発見を踏まえて、「残したいこと」について話し会いました。



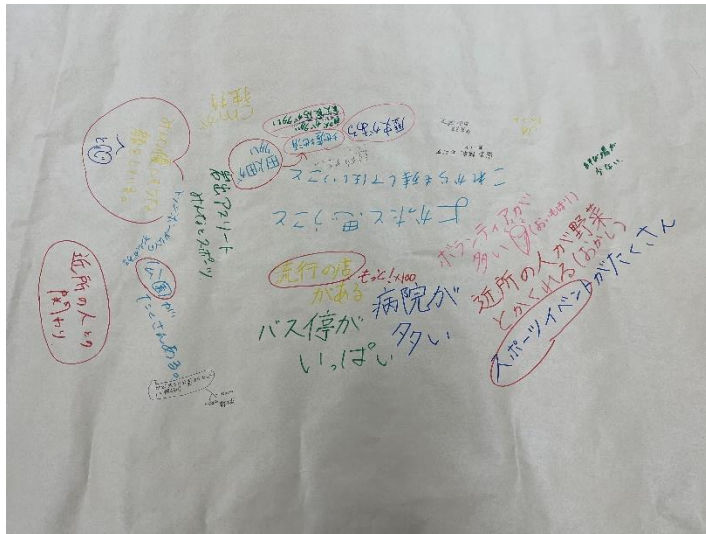
まとめ

○カードを記入します。
○記入したカードをテーブルの上に配置し、各テーブルで共有をしました。



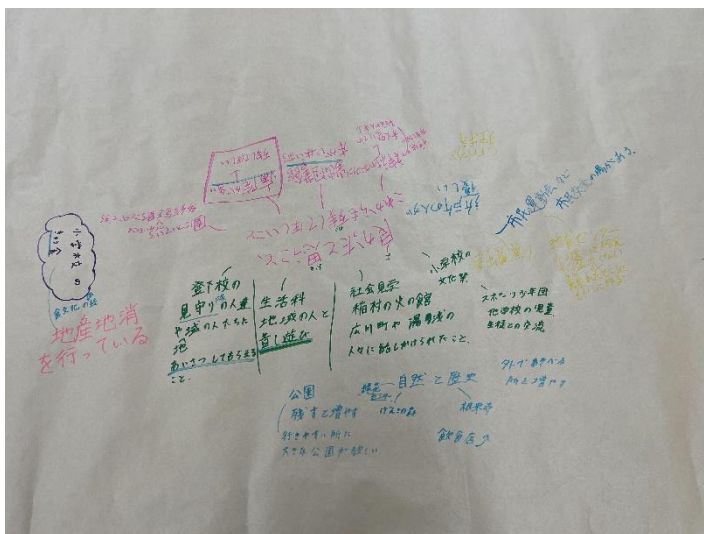
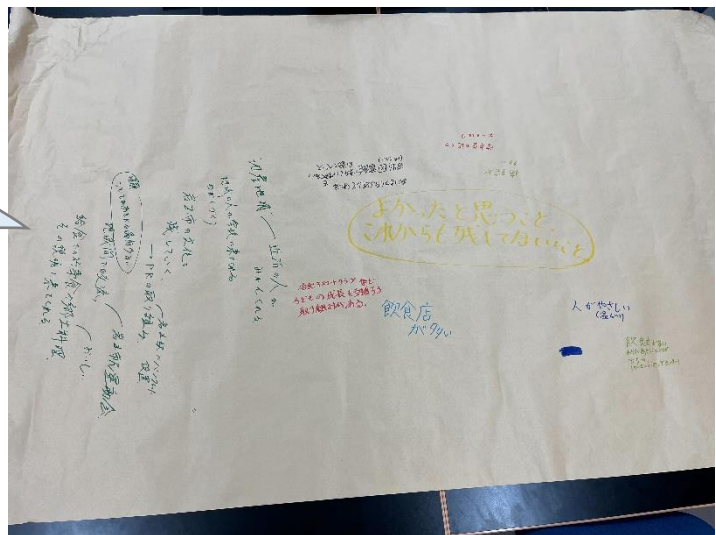
6 ワークショップ意見まとめ

【模造紙】写真



スポーツイベントやボランティアに関しての意見

地域の人の優しさや地域間での交流についての意見



社会見学や自然・歴史に関しての意見

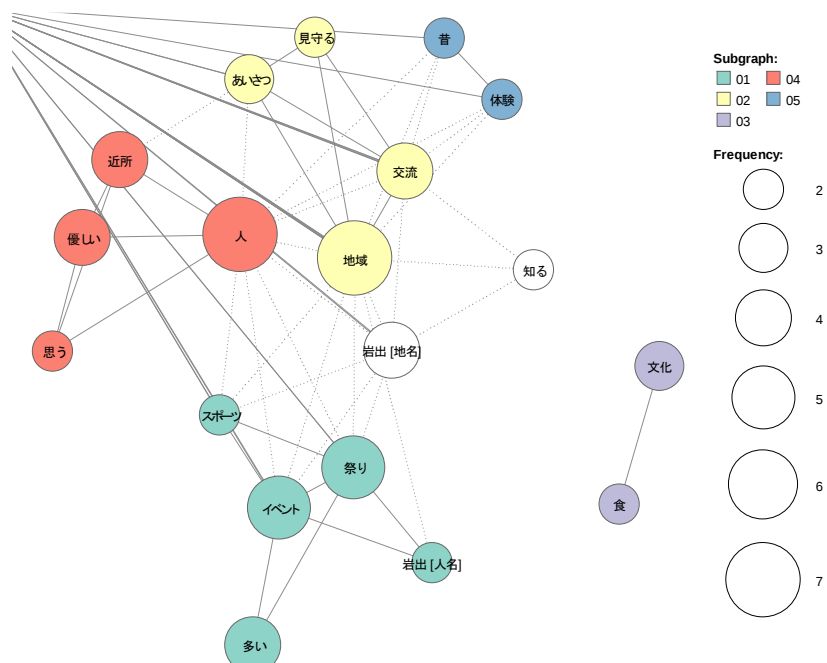
■カードまとめ

ここにのこったよかったこと	
・近所の人が優しい ・自然・歴史が多い ・イベントがたくさん！ ・イベントが多い ・近所の人が優しい ・文化祭や前夜祭 ・岩出や根来の祭りや地域のイベント ・スポ少やアスリートなどの習い事 ・イベントが多い ・近所の人が優しい！ ・祭りが多い！ ・地域の人のあたたかさに囲まれながら、スポーツイベントや祭り、ボランティアを楽しむことができる、それが岩出の良いところ！！ ・今回の集まりは非常に有意義なものとなりました。ぜひ続けてほしいと思います。 ・同世代の人と楽しく交流しながら、岩出市や和歌山のことについて考えることができました。 ・地域交流など自分が知らない岩出市、地域の取り組みについて知ることができました。 ・飲食店がいっぱいある ・文化がいっぱいある ・地域の方々の見守り活動や、そこでのあいさつなどの交流があること	・おいもほり ・社会科見学 ・遠足 ・マラソン大会 ・近所の人とあいさつなどをして親しくなれる ・授業で行われる地域の人たちとの交流(昔遊び、町体験など) ・学校給食(食育・食文化) ・岩出図書館がデカい！ ・人情がある ・夏(秋?)祭り ・スポーツ少年団 ・昔遊び体験 ・根来の桜 ・病院を残したい ⇒けがや病気の時にあったら便利だから ・地域の人々の見守り、あいさつ ・病院がいっぱいある+頼れる ・岩出市での祭り ・近所の人が優しいと思った。確かに優しい

■共起分析

※意見の関連付け

- ・地域、人の意見がある
- ・イベントはスポーツに関連した意見



ミライにのこしたいこと

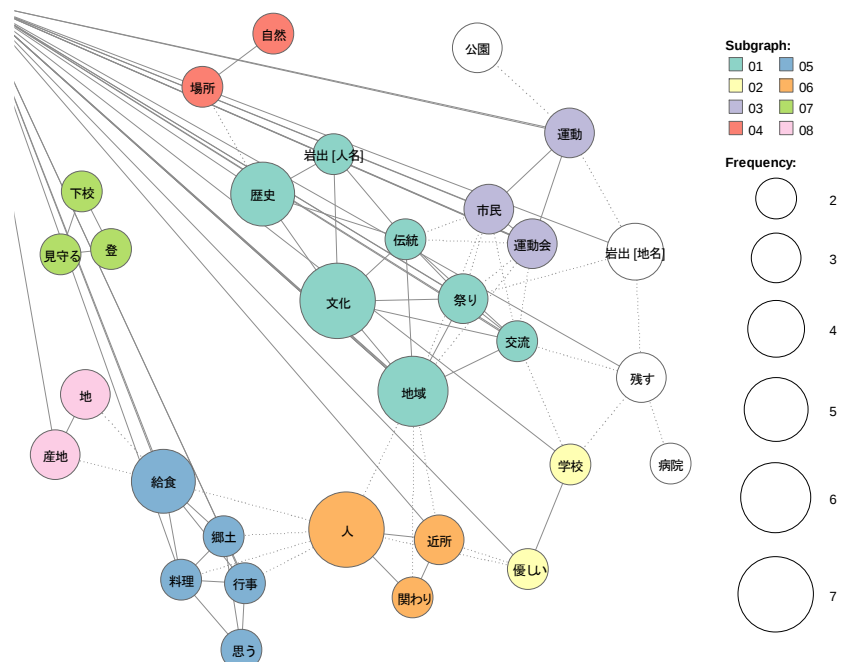
- ・遊び場・自然・歴史をたくさん残す
- ・歴史がある
- ・田畑
- ・地産地消
- ・公園
- ・飲食店
- ・自然
- ・近所の人の優しさ
- ・文化・歴史
- ・病院の多さ
- ・地域イベント
- ・近所の人との関わり
- ・流行の店、遊び場などを増やす
- ・地産地消⇒田畑
- ・地域、近所の人との関わり
- ・岩出の歴史や伝統
- ・子どもたちが安全に遊ぶことのできる公園
- ・給食で郷土料理や行事食が出て、給食センターの人が説明に来てくれました
⇒食育において非常によい
⇒給食がとてもおいしいです
⇒これを機に行事食や郷土料理について面白いと思うようになりました
- ・生徒会で岩出市PRパンフレットを作り、駅に設置してもらいました。こうした岩出市の文化を伝承していく取り組みは、未来に残していきたいです
- ・岩出の歴史、文化

- ・お祭り
- ・市民運動会(運動系)
- ・市民運動会、夏祭りなど地域の交流・文化伝統を残せる活動があること
- ・かかし作り
- ・昔遊び(地域の人と)
- ・市民運動会
- ・陸上大会など、他の学校などと交流できる機会など残したい
- ・自然とふれあえる場所
- ・歴史を伝えていける場所
- ・登下校時の見守り隊
- ・神社などのお祭り
- ・登下校の見守り
- ・給食と給食による地産地消
- ・スポーツ少年団
- ・根来ぬりなどの地域文化
- ・地域の祭り文化
- ・公園(運動などができる場として)
- ・「あいさつをしよう」と思う心
- ・「人と人が助け合える」社会
- ・病院を残してほしい
- ・岩出市での運動
- ・小学校の文化祭
- ・岩出市の祭り
- ・学校などで挨拶をしたり友達に優しくしたりする

■共起分析

※意見の関連付け

- ・文化、歴史に関する意見
- ・給食に関連した地産地消
登下校の見守り



こんなことがあったらいい…

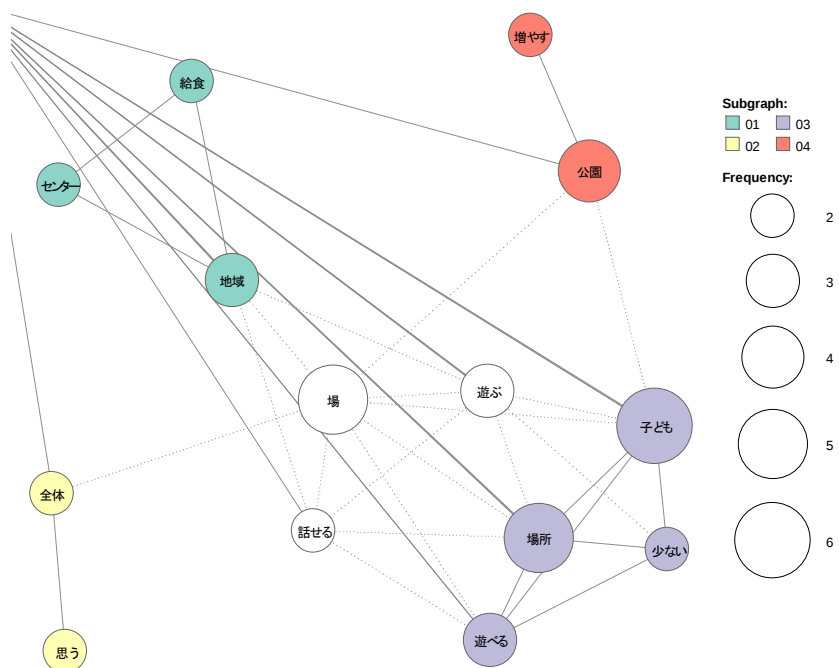
- ・みんなで遊べる場所
- ・地域の人々と話せる場！
- ・遊び場
- ・地域の子が気軽に遊び、話せる場
- ・遊べる場所などみんなで話せる場！
- ・遊び場
- ・遊園地
- ・流行りのお店
- ・岩出市内で、子どもの遊べる場所が少ないという声をたくさん聞きました
- ・最近、岩出市でも紀の川市につづき、医療支援（子どもにおける）が充実し、非常に嬉しいです
- ・岩出市のPRをもっと日本全体でしていきたいと思います
- ・若者の活躍を活かすというのは大切だと思います。（例：岩出祭りのパンフレットのデザインを岩出市で募集するなど）

- ・子どもの遊べる場所
- ・子どもの遊ぶ場所が少ないから多くしてほしい
- ・世界の料理をいっぱい給食に出してほしい
- ・公園をいっぱい作ってほしい
- ・広い公園などを増やしたい
- ・道路や道などを整備してほしい
- ・子どもから高齢者が集まることができる場（公園や施設）
- ・産婦人科がある病院
- ・離れた地域にも給食センター
- ・岩出全体での交流の場
- ・子どもも大人も楽しめるイベント
- ・公園をいっぱい増やしてほしい
⇒遊ぶ場所
- ・岩出市にバッティングセンターがあったらうれしいな

■共起分析

※意見の関連付け

・遊ぶ場所についての意見



7 総括

【全体】

- 幼少期から心に残っている思い出を話すことで、体験談を共有し、良かったことを再認識するきっかけにつなげることができました。
- 「なにがあればよいのか」「なにが欲しいか」をなげかけてしまうと「今」欲しいものに集中してしまい、未来を見据えた意見になりにくいと感じていました。

【地域の交流やスポーツ】

- よかったことや残したいことについて、地域の人との交流やスポーツに言及する意見が多くなっていました。さらにはイベントごと盛んであるといった意見から、まちに対する愛着や誇り（シビックプライド）の形成には、地域行事に関わることが大きく影響することがわかります。

【未来に残したい岩出市】

- 未来に残したいこととして、「歴史」や「自然」といった意見が多くなっています。
- 歴史・自然にかかる体験学習の充実をさらに図ることで、意識が高まり、自分ごととして行動できる可能性もあります。

【年齢幅が広いグループワーク】

- 今回のワークショップでは、小学校3年生から大学生までと幅広い年齢層の参加者で実施しました。
- 年齢バランスを考えたグループ構成としていましたが、小学生の中には意見がなかなか言えないもしくは、聞くことに集中している参加者もいました。
- ファシリテートで、そうした参加者も話し合いに参加できるように、グループに入り、質問を投げかける、話題に参加してもらうなど工夫をしました。話し合いにあまり参加していなかった参加者も最終工程でカードへの記入は積極的に参加してくれていました。
- 小学生から中学生までが参加するワークショップについては、直接的なテーマ（実施側が欲しい意見）とするよりも、間接的なテーマとして、最終的に抽出したい意見を取りまとめる方が効果的となっています。

